

1 豊富な種類から選べる塗料

外壁の塗装の変色や褪せ、塗装の剥離（はくり）、汚れやカビ、大きなヒビ割れなどのサインを見つけたら塗り替え時です。昔の塗料は劣化するのが早く、頻繁に塗装し直さなければならない塗料が多かったのですが、最近は耐久性能が違う豊富な種類の塗料から選ぶことが出来るようになりました。



理由1

塗り替えの間隔は使う塗料の耐久性能で決まります

一回の塗装が長持ちします

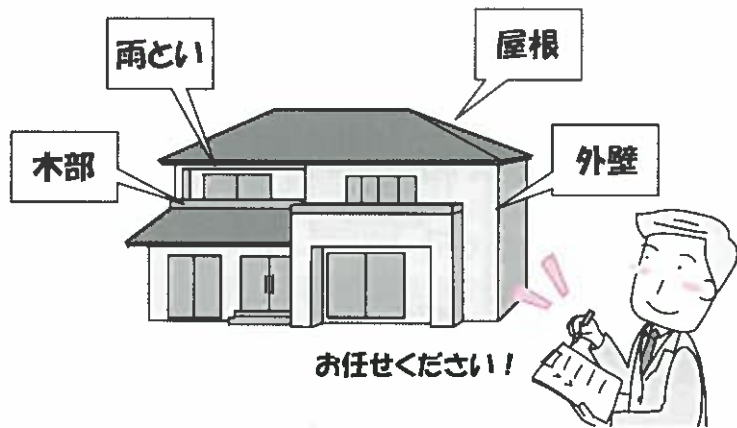
2 15年以上塗り替え不要の塗料も

最近のシリコン系塗料にはセラミック粒子を加えることにより、昔の塗料に比べて汚れにくく、耐久性が格段に高くなっているものが登場しました。この塗装を使えば10年以上性能と外観を維持できるようになります。また、フッ素系塗料など15年以上の耐久性を持つ塗料も開発されてきています。



3 塗料の選択は家の診断と合わせて

一般的には塗料は耐久性が高くなるにつれて価格も高くなります。家の築年数や環境によってそれぞれ最適な塗装を選ぶ必要があります。また壁と屋根のほか、雨といなどの金属部分、窓まわりの木部など塗装が必要な箇所はたくさんあります。塗料の選定は建物の診断と合わせて、信頼できるプロに任せるのがベストです。



知っておきたい豆知識

| 種類 | 特長 | 塗り替え目安 | 価格 |
|----------|--------------------------------|--------|---------------------|
| フッ素塗装 | 価格は高いが最も耐久年数が長い塗料。防汚性にも優れる。 | 15～20年 | <p>高い</p> <p>安い</p> |
| シリコン塗装 | 弾力性があり耐久性能が高いため長期間の対応に向く。最近の主流 | 13～14年 | |
| ウレタン塗装 | 光沢があり、厚く塗りやすい。価格と機能のバランスが良い塗料 | 8～10年 | |
| アクリル塗装 | 安価で10～20年前までは最も一般的に使われていた外壁塗装材 | 6～7年 | |
| 油性塗料(OP) | 主に木部や鉄部に塗るいわゆるペンキ | 3～4年 | |

**塗装の種類で異なる
耐候性能**

塗料の種類には大きく分けてアクリル、ウレタン、シリコン、フッ素の4種があり、順に耐久性が高くなります。10～20年前はアクリル、ウレタン塗料が主流でしたが、今はシリコンが最も多く使われています。また、同じ種類でもUVカット技術が進み、塗料の劣化がおきにくく進化していますので以前よりは耐候性能が高くなっています。